

美羽

とぶ

№17 15 IX, 1980

百万石蝶談会

HYAKUMANGOKU-TYÖDANKAI

白山地方におけるギフチョウの産地

松井 正人

白山地方においてギフチョウの産地はあまり知られていなかったと思われるが、最近、いくつかの産地が判明したので、ここに発表する。

1) 石川郡河内村福岡

下福岡より上福岡へ抜ける林道があり、この林道において、本種を発見した。(若下泰子嬢の御教授による)

林道沿いにはかなりのカタクリが見られる。4月21日^{*1}には、約1時間で200m²以上の個体を確認したが、そのほとんどは飛び古されていた。なお、5月18日^{*2}には、当地のヒメカンアオイより4卵塊を確認した。

2) 石川郡吉野谷村下吉野

部落より雲龍山山頂にかけてかなりのヒメカンアオイが見られる。また沢沿いには、フタバアオイも見られる。5月3日^{*3}、雲龍山登山道にて1卵塊を確認した。5月18日にフタバアオイを調査したが、卵・幼虫共、発見はできなかった。

3) 石川郡吉野谷村佐良

ウラジロガシがかなり見られる部落であり、川沿いのウラジロガシの根本にもヒメカンアオイが見られる。成虫・卵共に見場所は部落の裏山で、最近農地開発でできたらしい畑のそばである。^{*4・*5}

4) 石川郡尾口村白坂山

発生期間はかなり長いらしく、5月3日^{*6}標高約600m地点で
 かなり稚い古された個体と、羽化直後とも思われる個体を確認し
 た。しかし現地のヒメカンアオイは全然新芽が伸びていなかった。
 5月11日^{*7}に同地でヒメカンアオイより2印塊を確認し、また
 ニガイチゴより吸蜜する1匹を確認した。

ギョウジョウの確認記録 (確認者・松井正人)

*1	1980-IV-21	石川郡河内村福園	20♂♂ 年他数頭
*2	1980-V-18	"	4印塊 (11印・8印・8印・8印) ヒメカンアオイ)
*3	1980-V-3	石川郡吉野谷村雲龍山	1印塊 9印・ヒメカンアオイ)
*4	1980-IV-21	石川郡吉野谷村佐長	1♂
*5	1980-IV-27	"	1印塊 15印・ヒメカンアオイ)
*6	1980-V-3	石川郡尾口村白抜山600m地点	5♂♂ 9ex
*7	1980-V-11	"	4♂♂ 1ex 2印塊 (8印・11印) ヒメカンア オイ)

ウスバシロチョウの追加産地2例

吉村 久貴

1. 金沢市東荒屋断 1980-V-23 9♂♂ 採集

通称「湯涌街道」沿いの、田畑のおぼろいには、休耕田で多数
 発生している。羽化した含ばかりで、やや遅い感じ。当日は、横
 谷・双利ダムの帰りで、果道を走行中に発見した。

目撃記録：トラフジミ・キアゲム

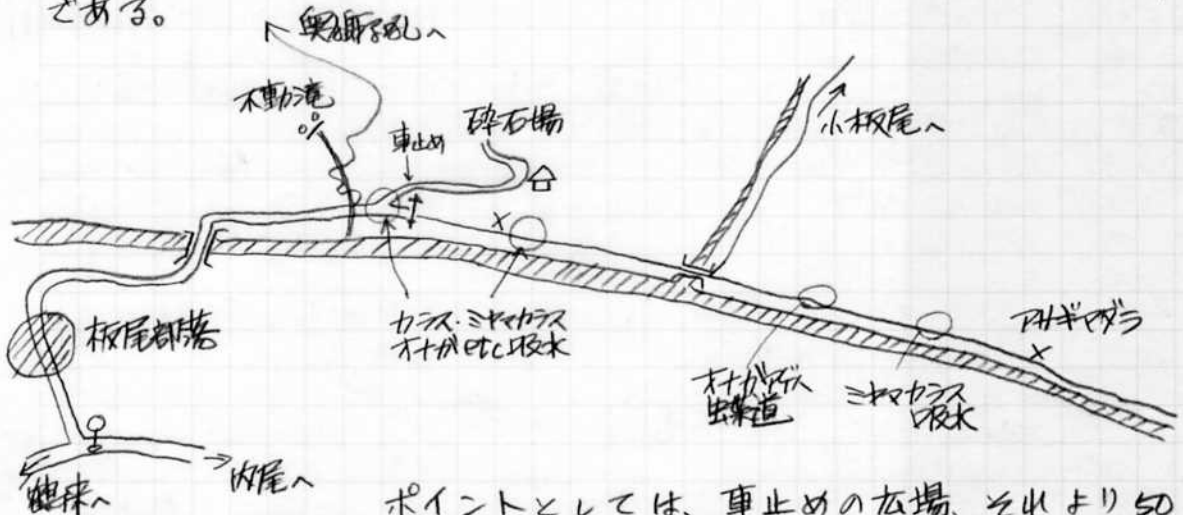
2. 石川郡吉野谷村中宮 1980-V-25 2♂♂ 採集

中宮のレストハウス近辺の草地で確認。当日、驟雨でウスバシ
 ロチョウは下草にかくれるように静止していた。個体は黒斑発達型
 には間違いないが、後翅の白斑は、印色がかって大きく、一見、
 白っぽく見える。また非常に小さく、金沢市近郊産の(X08)か
 (X07)ぐらいの大きさであった。食草らしきものは、エンゴサ
 クが少々あった。

なお、白山自然保護センターには、ウスバシロチョウの標本が展
 示されている。

また、保護センター対岸の広場でハンミョウを確認した。

石川県河内村板屋谷は、静かな渓流沿いの林道(車はダメ)がかかり奥まで続く、よい環境の所で有名な採集地島々谷を思わせ、筆者にとっては大変楽しい採集地である。目撃できる蝶は、カラス・ミヤマカラス・オナガ等の各種アゲムに加えて、スミナガシなど普通種ではあるが、筆者の好む蝶が多いことも大変うれしいことである。過去様々な蝶が記録されているが、特筆すべきものとして本年(1980)に確認した種に、ギフチョウ・アサギマダラ・ミヤマチャバネセセリがあげられる。松井氏よりカンアオイ類の自生の確認をたのまれたにもかかわらず、いまだ探すこともなく怠慢しているが、5月19日、たいへん暑い日であったが、カラスアゲムなどの集まる吸水ポイントにボロのギフチョウが来ているのを確認した。また当日、やや奥の渓流沿いで、アサギマダラ1匹を採集。また、何頭かのミヤマチャバネセセリのうち1匹を採集した。概念図は下図の様である。



ポイントとしては、車止めの広場、それより50m程奥の広場では、カラスアゲム・ミヤマカラスアゲム・オナガアゲム・アゲム・キアゲム・ルリシジミ・セセリ類が吸水しており、その他各所で何頭ものアゲムの吸水が見られる。昨シーズンの経験では、カラス・オナガが多く、ミヤマカラス1匹のみであったが、本年10数頭の吸水の他諸道氏によるキハダの確認もしたため、ミヤマカラスアゲムも多産するものと思われる。

また、車止めより少し手前の沢を150m程、登ったところに不動滝があり、滝っぼ近くの広場にベンチが用意されており、ここでもカラス・オナガ・スミナガシなどが得られる。広場のベンチ付近は

家族連れの人イキングなどにもたいへん好適地である。

—最近の採集データ—

- 1979.V.20 カラスアゲハ 7♂♂、オナガアゲハ 6♂♂、
ミヤマカラスアゲハ 1♂ ヲスバシヨウ 1♂、
トラフジミ 1♂ ヒメシヤク 1ex、ゴミスジ 1ex
- 1979.V.24 カラスアゲハ 1♂1♀、オナガアゲハ 2♂♂
ヲスバシヨウ 2♂♂ ゴミスジ 1ex
ツマキチョウ 1♂
- 1979.VIII.2 オナガアゲハ 1♂ ミドリヒヨウゲン 1♂ スミナガシ 2exs
ホバセヒ 1ex キチョウ 3exs、ルリシジミ 1♂
ヤマトシジミ 1♂
- 1980.V.18 オナガアゲハ 4♂♂1♀ カラスアゲハ 2♂♂
サカハチチョウ 2exs.
- 1980.V.19 ミヤマカラスアゲハ 4♂♂ カラスアゲハ 7♂♂
アサギアゲハ 1♂ ミヤマハネセヒ 1♂ ミヤマセヒ 1♀

—その他、過去の自撃記録—

ギフチョウ・ナミアゲハ・キアハハ・スジグロシヨウ・モンシヨウ・モンキ
4♂♂・アカタテハ・キタテハ

なお、本年5月18日、諸道氏と採集に行った際、林道から見上げて
斜面を見てみると、木陰の葉に静止し交尾中のオナガアゲハを発
見。2人でよじ登ってオナガアゲハのペアリングを撮影したことを
付記しておく。

—— ホシチャバネセセリ は 2 化 ——

—— 松井 正人 ——

暖地では 2 化、寒地では 1 化といわれるホシチャバネセセリは、
石川県では今まで 8 月にしか採集例がなく、何化するのかわからな
かった。この度新鮮な個体が 6 月に採集されたので、2 化するものと
思われる。

1980-VI-22 石川県江沼郡荒谷町鶴ヶ滝 2♂♂1♀ 松井正人

—— セセリチョウの採集データ 2 例 ——

—— 吉村 久貴 ——

先日、松井氏が筆者宅を訪れた際、筆者採集保管のセセリチョウ科
を同定していただいた折、普通種ながら記録しておきたいデータが

2例あったのでここに報告する。

1. ホソバセセリ 1雌 1979-VIII-2 石川県内板尾不動滝付近 (死損)
2. コキマダラセセリ 1♂ 1978-VII-18 金沢市日尾〜犀川ダム

なお、誌上を借りて同定していただいた松井氏に感謝の意を表します。

ハリグロチャバネセセリを採集

松井 正人

ここ2年間捜しても見もしなかったハリグロチャバネセセリを、尾口村にてついに採集したので報告する。発生は遅いようである。

1980-VIII-10 尾口村三ツ又発電所付近 5♂♂2♀♀
(通称ホシミズジ通り)

1980-VIII-15 尾口村中ノ川 3♂♂(吸木)

尾添川三ツ又発電所のホシミズジ

諸道 秀人

1980年8月10日、松井とともに尾添川三ツ又発電所近くの崖に生えるシモツケより多数のホシミズジ幼虫を得た。幼虫は好みの株に群集しており巣を作って中にひそんでいるので発見はやさしい。

また死損虫、新鮮♀を多数確認し、産卵行動も確認できた。同地にはヒメノカリヤスやカモジグサが多く、松井氏は多数のハリグロチャバネセセリを得ている。

そして同地に産するというツマジロウラシノメは、確認することができなかったのは残念であった。

石川県のホシミズジは、ユキヤナギを好んで食するようで、同科のコデマリは、代用食とはならぬようである。

図1. 幼虫の巣



図2. ユキヤナギに付いた食痕



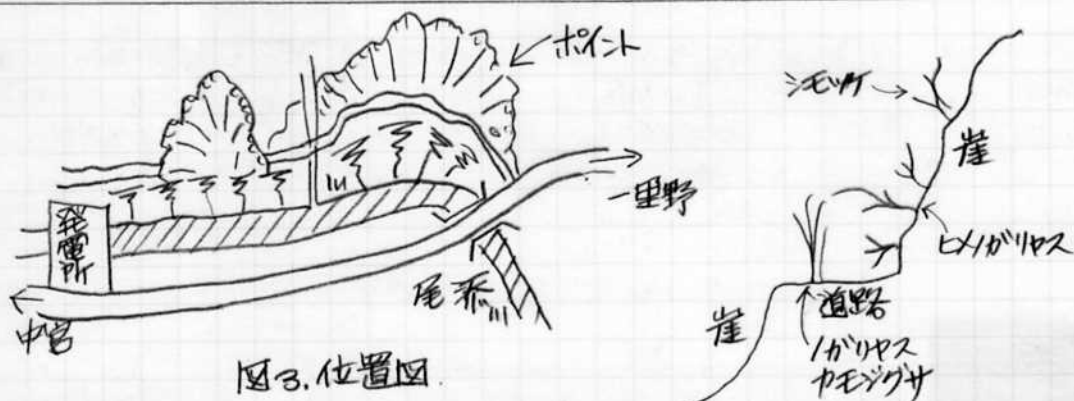


図3.位置図.

最後に、石川県産 *Neptis* 属の未確認幼生期は、オオミスジだと考えた。

白山周辺のホシミスジ

吉村 久貴

石川県産 *Neptis* のうちホシミスジ *Neptis pryeri* は、白山周辺特に中宮温泉近辺に生息していることが、諸氏によって報告されているが、本年(1980年)筆者は、白山麓各地で、何例か採集したので、ここに報告しておく。

1980-VI-30	3♂	石川県吉野岩村尾添川右(中宮)
1980-VIII-2	1♀	" 白峰村三ツ岩
1980-VIII-25	2♀	" 白峰村湯の岩
1979-VIII-29	1♂	" "

本種は白山を取りまき、河川沿に広く分布しているように思われる。発生時期は標高差があるとはいえ、6月下旬~8月下旬と非常に長く、2化の可能性もある。近畿・中国地方では3~4回発生して5~10月に見られるそうである。中宮で諸道氏によってシモツケソウより幼虫が得られていることより、やがて解明されると思われる。

タカネヒカゲ目撃記録

松井 正人

1979年8月17日、北アルプス木晶岳より鷲羽岳にかけて数頭のタカネヒカゲを目撃したので報告する。この日は快晴で遠望のきく日であった。(嵐の前の静かとかで翌日は大暴風雨であった。)

8月17日はわりと時期が遅い方であるが、新鮮な個体が多かった。

また、19日下山の際に太郎小屋下部より三角点上部にかけて、ベニヒカゲがたくさん見られた。

《例会の記録》

◆1980年7月11日(金) PM7:00~9:00
市内川上野崎浦公民館にて本年2回目の例会を開いた。出席者は、松井・野中・八木橋・諸道・吉村・井村・岩下・竹谷・嶋根の9氏。金平君には連絡がはずれ失敬した。

主要議題は、九大白木隆博士と富山県昆虫同好会の木野透の御両名への入会希望のあった話、地に落ちた石川県産オオヒカゲの話、野中氏による謀地のアサマシジミ写真展、相変わらぬのカミサリ・オサ談議、新会員吉田泉氏の紹介etc.

閉会后、有志により松井氏宅を急襲し松井コレクション展開催の運びとなった。

なお、白木氏・木野氏の要望に押す、取扱いは会員として入会してもらうことで、着場一致、話が決定した。

◆1980.9.4(木) PM7:00~9:00

市内崎浦公民館にて3回目の例会を開催した。出席者は、井村・諸道・嶋根・野中・吉村・金平・松井の7氏と新会員の松田氏。議題は、今夏の総決算報告、吉村・諸道コンビのシオオビアゲハの飼育について、野中・井村のカミサリ展望、石川県産ホシミスジ・オオミスジの幼生期解明報告、丸石合でのエリタテハ採集、他。標本箱購入の話が出て、おる人は20箱も買うぞーな。

9月6日より、1週間の予定で野中氏は西表石垣へ、目標は?? 知りない。金平氏は、自転車のライセンスを取ったぞーぞ。

—嶋根氏記—

《会員の動き・レゾの動き》

◆6月20日、大蔵省印刷局より日本の重要な昆虫類—動物分布調査報告書12分冊の一部(北海道版・遷境左編)が発行された。北海道版を早速見て気に入ることがひとつ。

生息環境、生息状況、保護の現状欄に、『特別の保護対策をとる必要がある』とか『対策をたてるべきである』という言葉が、おやみに目につき、これでは、レゾの虫が全部保護虫に(?)なってしまう危険性がある。……老過ぎかな。

このおと、東北・北関東・南関東・甲信越・北陸・東海・近畿・中国・四国・北九州・南九州・沖縄版が発行される由。

◆野中・井村御両人は、今年は蝶をさし控え、もっぴらカミサリ・オサなどに専念しているとか。毎年かな。

◆6月22日(日)吉村・諸道のアゲルコンビは、アゲルを棚上げして滋賀県八日市へキマリの調査をした。現地では既に20人位のネオが右柱左柱していたというが、幸にも1頭のピカピカを拾った。??
||例)に、ナラカシワでウラジロシドリなどをも思ったが、木が大きすぎてシコボリ。

◆同じ6月22日、KM氏立山川にてアサマシジミ数10頭、6月30日、KH氏同じ立山川にてアサマシジミ40幼採集したぞーぞ。相変わらぬぞーぞ。

前後して富山同の大野豊氏も数10頭採集したと聞く。富山県のアサマは多いんだね。



◆ はた井. 6月22日(日). 松井仕掛人は
鞍掛山へ走り、〇〇セリ教頭を採集し
た。鞍掛山周辺に長いウラジロガシがあ
るそうで、ヒサマシの可能性も? 誰か、
挑戦して下下さい。

◆ バンコ. コルター・嶺根井は、鹿沼県の神園
氏の許らいたに、シオオビゲン50卵を
都合してもらい、諸道・吉村アゲンコ
ビに委託飼育中。ミカン類とカラダフ
トによる、エサの違いにお変異は?

◆ 6月24日(火). 吉村・諸道コンビは竹居
カマランの情報により、辰ノ口町ハウラ
ミアカを採りに行った。しかし木をたけ
たばかりで、ホースだった。

◆ 吉村曹長(早朝)は6月28日(土)匡王山
へ朝がはし10分間のパイミドリを採った。

◆ 6月29日(日). 松井・諸道イムシコンビ
は、午後、瀬番へキバネセリ調査に。
しかしながら、食草のハリギリさを見つ
けなかった。

◆ 6月28日(土). 野中氏. 白山スーパ
ー林道にてアマシジミを採集。カメラに
おさめた。お水を聞きつけ、翌日、
吉村氏も教頭をとめた。食草はタマ
タシらしい。

◆ 7月1日(火). バンコは獅子吼高原
へ。平日だというのにアベツクが4ペア。
おかげで一番カンジンを折へ行けず、
カマ。エゾ・ジョーザン・ミスロオチが
ルリ・ダイゼン等を少々採集。ウラジロ
1早自撃したとことで土砂降りの大雨。サ
ーミョ・アベツクめ。

◆ 7月3日(木). NHK-TV NEWSによると、
山梨県の集竹(名前を忘れた)にて蜂等の
珍種の新種(?)が大量に発生したと報
道した。何でもヤマシジミを食らうそ
うで、そのおかげに(ホソオウウラシ)シ
コウアゲ人が減っているのではないかと心配し
ているキキがあるようだ。

◆ 今夏、石川氏の会では、群馬県取得
して、数人の構成メンバーにより、白山の
昆虫調査を実施するようだ。

◆ 7月5日(土). 嶺根井・吉村重量コ
ンビは、ヒサマシ・Xスアカを求めて、
猪谷・神岡方面へ。採ったのは、エ
ゾのみで不成績を天候不順のせいに
して、帰りに常磐寺川大日橋周辺を
はいかいた。ここでは、ミヤマシ
ジミを教頭得た。

◆ 7月9日(火水) モム氏は獅子吼
高原へ。北沢ゲレンデ付近にてシロガ
シミドリ1匹のド・アップ撮影に成功
した。

◆ 7月上旬、松井幹事宅へ九大の白
木隆博士と富岡司の木野透氏より
相ついて"物ヲ"所望の便りが寄せられた。
日本中の文献集めに定評のある博士
だけに、さすがに日本中に張りめぐら
せてある情報網にかかったらしい。松井氏
も富山県では、今献花と呼ばれるに難
くない。

◆ 7月10日(木) 諸道宅にて飼育中のシオ
ビゲン(オビゲン×奇形産卵産卵)が1頭
羽化した。羽化早はI、II両型と羽化
している。BR松井氏によりハンドペアリング
完了。吉村氏宅のものも、羽化近し。

◆ 金平氏は、スキー場の合宿のため、7月10日より10日間、七山堂へ。晴れたのはたったの1日だけだったとか。

◆ 吉村曹長は、7月12日～15日にかけて長野県白馬村・松本付近郊・伊那市近郊・丹波高原を走破した。

成果は、アサマ・ホシズミ・ミスジ・フタズミ・Xスゴヒョウモン・ヨドリヒョウモン・コヒョウモン・コヒョウモンモドキ・テグチウ・コムラサキ・クジャクチョウ・オオシズミ・シタテハ・ヒメジミ・ウラゴマダラシジミ・ミヤマシロチョウ・ヤマキチョウ等を調査してきた。詳細はそのうち、「長野県遠征記」として掲載予定。

◆ 松井氏によりハンドペリングに成功したシオビアゲハは、その後諸道亭のシオンに140～150卵産卵した。近親の羽が弱く半分はふ化せず。残りの大半はビールスとかにやられ終齢にまでこぎつけたのは10数頭、さらに生偏化は5頭だったとか。

◆ 吉村・諸道・岩下の新トリオは、7月21日富山県有峰湖へ。ヒメジミ・コムラサキ・ジョウジシドリ・コヒョウモン等10数種を採集。東谷あたりにて吉村曹長は穴ボコへ落ちて足をケガし痛いのをがまんして金沢へ帰ったとか。

◆ 7月27日(日)、松井・諸道の2人組は白山へ。何れに行ったかは知らない。

◆ 7月30日(木)、松井仕事人は、先程の丸石岩にて何か(?)を探索中、エリタテハ1匹を採集した。

◆ 再び松井仕事人は、お盆に休暇をと

つて、白山川・梅平川を調査された。

◆ お盆に限らず、今年は日本中いや世界中が、天候異常のため、虫も思うにたれず、採りに行けず、エライ・ナンギナ・コツキヤ。

◆ 8月22日、テイスゴの金平氏は夏休みの採集旅行を返上して自乗車の免許証取得に専念し、ついにとった。

◆ モロム氏 8月24日～31日の間、土木関係の学会に出席のため、北海道へ。圏いずれ、行きも帰りも電車(国鉄)だとは、4日間は列車にゆられたとか。

根室・釧路・十勝幕別等で採集し、クジャクチョウ・シメノキチョウ・モンキチョウ・シタテハ(幼虫)・アイニシ川(GP)・ジョウジシドリ(GP)をとりとめてきた。が、以外に戦果は小さかった模様。

◆ 9月2日(火)、バングは仕事のかたわら、2週間前に見つけたおいた美川町(甲利)のゴマツギを調査。いかんせん、取川堤防は除草のため丸坊主。シヤマジミのミの字も見なかった。

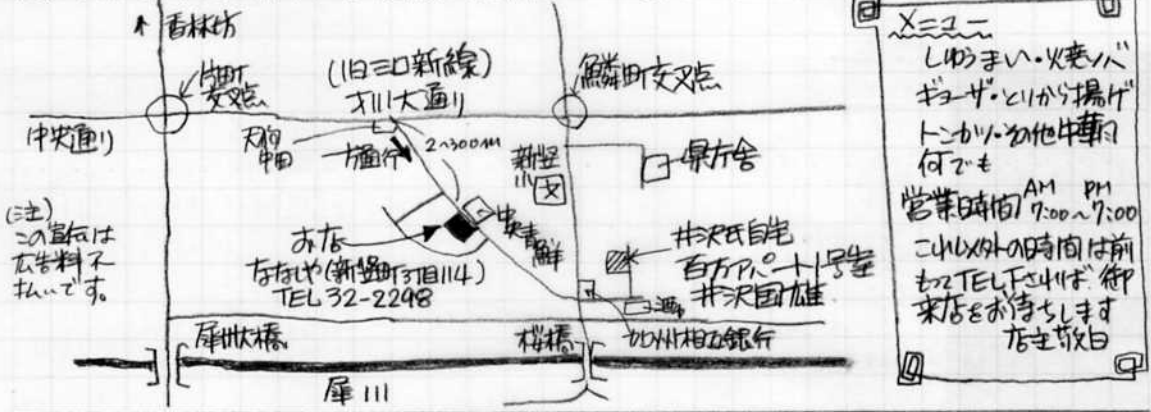
◆ 9月4日(日)、吉村・松田・山崎の異色トリオは富山県常呂町持川へシヤマジミの調査をした。食草のゴマツギは、取川敷一面にビッシリという感じ。さすがに多産地である。取川とは状況が異なっている感じが大きい。帰途、折田で、富山同の大野豊氏宅へ立ち寄ったが、相にくと日曜出勤で不在。食草だけして定評のある庭と愛書を見せしめ帰った。



◆ 井沢国雄氏、金沢に舞い戻る。

金沢市中央通川田にラーメン屋「楽楽」を開いていた氏が、行方不明(?)となっていた5年。5年間の放浪生活に終止符を打ち、金沢に舞い戻ってきた。5年間に何があったのか知らないが、紅顔の美青年

いっせいに、どこかには白いものが「フアホウ……」しかしなから、顔は相変わらず、何はともあれ、元気でよかった。今度は新聖所に「ちんちん」なる店を出したので「Dと金」に自信がある方は、是非御来店下さいな。石川県の会に在籍の際は、軽四車として大「医王山」へ行っていたものだ……。 (嶺我井記)



目次

白山地方におけるギフチョウの産地	-----	松井正人	-----	1
ウスバシロチョウの追加産地2例	-----	吉村久貴	-----	2
河内村板尾谷採集記	-----	吉村久貴	-----	3
ホシチャバネセセリは2化	-----	松井正人	-----	4
セセリチョウの採集データ2例	-----	吉村久貴	-----	4
ハリグロチャバネセセリを採集	-----	松井正人	-----	5
尾添川三ッ又発電所のホシミスジ	-----	諸道秀人	-----	5
白山周辺のホシミスジ	-----	吉村久貴	-----	6
タカネヒカゲ目撃記録	-----	松井正人	-----	6
例会の記録	-----	嶺我井記	-----	7
会員の動き・ウバの動き	-----	嶺我井記	-----	7

期 No 17 1980年 9月 15日(月)

発行：金沢市三〇新街4-9-34、松井正人方
百万石蝶談会

編集校正：嶺我井海都